

この記事は、共同通信社が配信して、沖縄タイムズに掲載された記事を、物性グループ事務局が、両社から許諾を得て転載しております。

沖縄タイムズ(2015年1月7日) 朝刊 18ページ 教育

電子科学誌が高騰

研究者対策求め声明

研究や論文執筆に不可欠な科学系の電子ジャーナル(電子版学術誌)の購読価格が高騰している。全国の物理学者

約1100人が参加する組織として緊急声明を発表し、共同で閲覧できる新たな体制の確立や財源確保などの対策を求めた。

約1100人が参加する組織「物性グループ」は昨年11月末、大学予算の削減や円安も重なり購入が困難になってい

ると、2009年以降、ネイチャー関連の電子ジャーナル

で大学が購入する価格は2〜6%上昇した。

研究者が投稿する論文が増え、内容を審査する編集者の人件費がかさんだことなどが原因という。

物性グループ委員長の石田武和(大阪府立大教授)は「電子ジャーナルへのアクセスは研究を進めるに当たって必要最低限の条件。科学の発展や人材育成のために環境を整えてほしい」と話した。